

年間には一〇タラ

名の学院となる見込みです。その為の施設も必要となりますので、本年十月から第一期工事として、現在のリズム室の倍の広さのリズム室棟を現在の建物の南側のテニスコートのところへ建設することにしてあります。来年三月までには竣工する予定であります。引続いて来年度には、第二期工事として、図書館と第一看護科増員に伴う教室や実習室を西側のバレーコートのところへ日本自動車振興会の援助を受けて建設するよう補助の申請中でありまして、何とかこの建設の実現することを祈っております。

よ明年（昭和五十六年）は本学院の創立十周年の記念すべき年を迎えるわけで、記念式典や記念行事を計画準備しております。中でも記念事業の大きなものは、先に書きましたリズム室棟（一階ピロティ、二階リズム室）延七五八平方メートルの建築です。そして完成したばいリズム室で記念式典を盛大に行う予定であります。卒業生のみならずは夫々全国各地で元気に活躍しておられることと思ひます。来る十一月二日（日）は第九回学院祭で、この日に同窓会総会が開催される予定ですから是非とも母校を訪ねて下さい。ようお待ちしております。

昭和55年3月末までの卒業生の数

	保 育 科	看 護 科
第1期 (S48.3)	28	43
第2期 (S49.3)	24	55
第3期 (S50.3)	25	68
第4期 (S51.3)	16	79
第5期 (S52.3)	23	88
第6期 (S53.3)	32	69
第7期 (S54.3)	36	102
第8期 (S55.3)	40	54
小 計	224	558
合 計	782	

現在の学生数（昭和55年度）

	保 育 科	第1看護科	第2看護科
1 年	53	53	59
2 年	34	60	61
3 年		37	
小 計	87	150	120
合 計	357		

近 況

「ただいま育児中」

看護科二期生

藤 本 智恵子

独身時代、社会の中で多くの人に求められて生きたい、結婚とは無縁の人生を歩んでみたいと思っていた私が、現在二人の子持ちで専業主婦。水田に囲まれた田舎でオムツを洗ひ、子供と遊び、たまには近所の奥さんと話をして日を送っている。毎日が同じ事の繰り返しのようなもので、何かしら小さな発見があり、子供はどんどん成長していく。とても楽しみなものである。

こう書きながら、ようやく焦りから抜け出すことができた自分を感じて、つとめがゆるむ。職場から離れていくと、誰も彼もが自分を蔑んで先へ行ってしまおうという不安がある。友達と会っても、同窓会だよりを読んでても仕事一筋の

人、家庭生活と両立させて頑張っている人・・・どちらを向いても熱い人達ばかり。加えて近年、女性評論家が、「女も自立しない」と言い、マスコミが力を入れて「裸んでる女」「キ・ア・ウ・マン」と騒がてた。医学も看護も常に研究され、向上していく今日、私はこんなに暢気な生活をしていていいのだろうか。職場復帰は離れている期間に比例してむづかしくなるという。子供に手がからなくなっている。では遅すぎるかもしれない。そういう思いにとらわれている。それは我が子の教育と健康であってほしい。という項目が目についた。最初は時代を逆もどりさせるようだと批判的に目を通していたが、毎月読んでいくうちに驚ける部分もあると思えるようになってきた。焦りの底に、子供は可愛い私の人生を大事なところで邪魔する者だという思いが潜んでいたのだ。

これではたとえ就職したとしても求められる人材にはなり得ない。

秋晴れの気持ちのよい天気が続いているが、保育科第七期生の皆様お元気ですか？今回は、赤熊邸に寄せられた皆様の近況を報告したいと思ひます。まず、おめでたい話から――「あやち、んに弟を、七月十八日、二四五〇gで男の子が誕生。十日程保育器に入っていたそうですが、もうすっかり元気。名前は土郎君です。」

同じく、東京でも元気な男の子の産声があがりました。八月二十八日、二八八〇gで誕生。りえさんもおかあさんになりました。また、四月に結婚したみゆさちゃん、十月一日が予定日、お腹を摩りながら母になる日を持っていくこととす。南は鹿児島では、逢来さんが九月十二日に結婚するということが、残念なこと、当局には詳細は入っておりません。あしからず御了承下さい。

次に、葛山に帰って近くの保育園勤務の友金さん、二才児担当。水泳指導、〇〇研修と度々岡山へ出張。車の免許もとったし、後は養子にきてくれる男性だけ。同じく、保育園勤務の若槻さん、二・三才児担当。仕事が楽しくって仕方ない。結婚なんてまだまだ。安全運転で通勤しています。ややびっくりリースとして田村みちちゃんか免許をとりました。彼の方も着々と、ずいぶん女らしさを増したとす。

「岡山へ出て行きたい。」電話の向こうでボツリ。家にいると寝もできないし、夜遊びもできないし。寂しそうな小谷さん。一番の仲良しはボツリとす。

弘徳にひとりぼっちになって何にもできないと泣いていた末藤さん。最近、電話の度に弾んだ声を来る度に笑顔。左手の薬指を見つけてはニマリ。何かいいことあったんじ、ないかな？

北は金沢の城市さん、高月さん。四月に相変らずの顔でやって来ました。夏は登山、冬はスキーと、家に帰る暇もなく。北海道に夢を託しているようす。

海を隔てて、四国の赤生ちゃん、美恵ちゃん、富美ちゃん。それぞれ結婚の話があるとか。富美ちゃんは療育研究会に来ており、四国を代表して私達に元気な姿を見せてくれました。

最後に、「皆さんに、大変ご心配をおかけしました。」と云っているのは松坊。七月八日肝炎のため川崎病院入院。元々元気な松坊、八月二十一日に無事退院。「見舞いは女より男。」「食物より宝石」と大変でしたが、九月一日より学園で勤務しています。

私達もう年頃。「結婚したい。」「お互いその気はあるんだけど。」等々。結婚したいけど彼のいない人。結婚したくないのに彼のいる人。又、不倫の恋で悩んでいる人も少なくないようす。

逢来さんに続く第四弾は、末藤さんか、大熊さんかと話題はつきません。それでは、皆様お元気で。赤熊邸より

保育科第七期生の皆様へ
みなさんの顔が見たいという声もあります。同窓会も徐々に計画しております。

私の近況

保育科 福田 君子

(旧姓伊藤)

今、私の側ではメリーゴーランドが回り、その下では長男がアプアプ言っている。不思議なもので、去年の今頃は旭川で飛び回っていたのにアアアアと母に母になってしまった。毎日が平凡過ぎて、何でも自由気ままに出来た独身時代がなつかしくて仕方ない。養子と言ふものだからか。結婚してこの家に来て、私にはたくさんのお金が来た。と言ふと、小男と遊んでも思うだろうが、それは猫。シャム猫からドラ猫まで種々の猫が我家に集まって来て、お前はここから来たのだという顔をして私を見て、家の回り

平 貞江

保育科 (旭川児童院)

第五期生

同窓生のみなさん、お元気でしょうか？

相変らず児童院で頑張っております。二十四才・・・いろいろと考えなければならぬ年代、分岐点に立たされている自分を、もう一人の自分が、遠くからまた近くからせせら笑っている様な複雑な心地です。思い通りに行かないから、いまはやりがちなそんなのが、いかに現在を充実させるか、もうはり児童院での残りすくない青春時代を謳歌しようと思ひ強まっている今日この頃です。

をのしき、チャンスをつかいては台所を思う。自分の家面したってお前はここの家にあるのか。私にはちやんとあるんだ。今まで何回のお魚を持ち逃げされたことか。以前友達に干物の魚を口にくわえて猫のマネをしたことがあったが、まさにそう言う格好で逃げた。ただ「コラ」と言う。追いかけるしかない。我家は坂の上であり、二階が上の家の一階と同じ高さだから二階からも乗入れられる。二階が通っている。こんどは床下から。高い窓も何のその、猫の大ジャンプ。猫が玄関からのもつり入ってくる。私は動かないで人形のマネをする。すると猫も動かないでじっと私を見ています。猫と私のにらみ合いだ。私が長男を産んだ頃、猫も子どもを産んだらしく最近猫が多くなった。長男もそろそろ三ヶ月。猫の子ど

も成長して動きが活発になり、親の意図を察してか我家の台所を狙うようになった。しかし子猫を追いかけるのは、なんともかわいそうなのが、これも私が親になつたせいかもしれない。これから一生続くであろうこの家での生活。猫との戦いも又続くことだろう。

ことしの夏であい

保育科 村木 充子
(旭川児童院)
山口百恵ちゃん「ひと夏の経験」ではありませんが、私のこの夏の経験を話しましょう。私の住まいのすぐそばを流れる旭川に六月頃より一羽の白鳥が空をあらわしました。(山陽新聞に載ったので御存知の方もいらっしゃるかも・・・)私にはただの

白鳥とは思えませんでした。その座ぐ姿は王子さまの化身に思えたのです。それからというもの毎日AM七時すぎパンをもって通ったのです。王子さまは毎日残さず2コのパンを食べてました。こうしてとうとう、近所の七人の子どもたちと知り合い、子どもたちも一緒に王子さまを可愛がったのです。(へま

と手馴れ宿泊所も未定で、全くのいきあたりばったりの旅でした。その中で強く印象に残ったところを紹介いたします。田沢湖高原の奥、先達川の上流で乳頭山のふもとに乳頭温泉郷があり、その温泉の湯温湯温泉、深い山あいの中に茅葺屋根の素朴な湯の宿。露天風呂もあって山の湯のムードが湯地のたちこめる各戸にただよっている。一番古い建物が二〇〇年前、明治時代以前のもので、くずれかけたあばらやという感じで、それがまたなんともいえず、ふわりうでほんとうにひびいた温泉宿です。ひさしぶりに都会をはなれ、

伊くろバスで送迎してくれます。ぜひ一度訪れてみては。

保育科 平 岡 瑞 恵
第四期生の保育科は毎年八月八日PM六・〇〇に不二階二階に集まっております。

私は卒業以来毎日出勤しておりますが、しかし、回を重ねるごとに出席者は徐々に減りつつあります。(理由はみなさんおわかりかと存じます。)

それにひきかえ私は、これから永遠に出勤し続けようという気配が濃厚でこれからの未来を熱望しております。

保育科 高 橋 敬 子
第三期生
あつという間の六年目、でも今一番充実して頑張っています。

保育科 岡 文 恵
第一期生
独身万歳



藤原ヤスエ先生を悼む

枕元の真赤なバラに包まれて、五月九日早朝藤原先生は卵巣癌のため亡くなりました。

先生は学院誕生と共に歩み、試行錯誤の中からやと看護教育のレールを敷いてくださいました。より強く、より太くこれからという時、私達は大きな柱を失ったことを残念に思います。先生は、享年四三才という短かい人生でしたが、多くの人々との

出会いに恵まれ、又出会いを大切にされていきました。

年に一度の同窓会総会も、先生は誰よりも楽しみにしておられました。卒業生の一人一人が第一線で大きく育ってゆく姿を心の糧として、看護教育に限りない情熱を燃やされていきました。

「痛たい所に手のとどく、そんな看護婦さんに育ててたいなあ」誰かがとどけて下さったダルマさんのように大きな目を開けて、「もし、もう一度元気になるなら、もっと良い教育ができそうだな」ボツンと言われた言葉が心に残ります。

先生は一〇ヶ月あまりの闘病生活の中で、死の恐怖と戦いながらも、看護とは、看護教育とはと問いつけ、患者サイドからの多くの示唆を与えて下さいました。

恩師藤原先生に

ささぐ

看護科 守 屋 礼 子

同窓生のみなさん、私たちにとって悲しいことがありました。藤原先生の死です。

いまじっと目を閉じればやさしいお顔、お元気なお声が耳のなかにひびいてまいります。でも私たちはこの笑顔にも、この声にも二度と現実と接することができません。悲しいことです。

教室ではお互いに学び学院祭では一緒にしゃべり、研修旅行では時間も忘れて楽しく語り、また、同窓会だより発行にあたっては前号まで熱心なアドバイスを下さったことが、走馬燈のように頭のなかを駆けめぐります。ご病気で休みになつてからは寂しさのなかでただ先生のご全快の一日も早いことを祈っておりました。その先生がもう私たちと同じ世界に住んでいらっしやいませんか。しかし先生が私たちの心のなかに植えて下さった、看護の教えの種は全国でいきいきと芽を出しすくすくと育っております。私たちはいつも先生を思い出しながらこの芽を枯さないよう育ててまいります。これが私たちにとって先生の恩に報いるただ一つの道だと思えます。先生どうか安らかに。天国で休み下さいませようお祈りいたします。

おなつかしくうごかします。先日卒業式の時にいただいた色のものを見ていて、あの日のことを、あまりにも克明におぼえていたことを驚きました。私は、最中市民で相変らず頑張っております。同期生の畑中さんは津山へ、酒井さんは日南へ帰郷結婚、井坂さん一児の母になっています。私はトンとなし。

看護科 江 藤 敏 江
第三期生 (明姓月俣)
学院卒業して五年、先生方、看護科三回生の皆はどうしておられるのかと学生時代と共につかしく思い出します。

同窓会、クラス会共一回出席のままだ。もう一度岡山見学をかねて行きたいと思っています。私も就職、結婚、出産、育児のコースを歩き、現在職業を離れて二年目、主婦専業主婦です。

五期生 下 脇 子
おなつかしくうごかします。先日卒業式の時にいただいた色のものを見ていて、あの日のことを、あまりにも克明におぼえていたことを驚きました。私は、最中市民で相変らず頑張っております。同期生の畑中さんは津山へ、酒井さんは日南へ帰郷結婚、井坂さん一児の母になっています。私はトンとなし。

おなつかしくうごかします。先日卒業式の時にいただいた色のものを見ていて、あの日のことを、あまりにも克明におぼえていたことを驚きました。私は、最中市民で相変らず頑張っております。同期生の畑中さんは津山へ、酒井さんは日南へ帰郷結婚、井坂さん一児の母になっています。私はトンとなし。

告知板

①合費納入の件について
第一期・第二期生の方で合費を納入されていない方は、同窓会事務局へ納入して下さい。合費は合費会費で一人一〇〇〇円です。
②合費の方で改訂、住所変更をされた方は事務局あるいは同窓会事務局の方へ直ちにご連絡下さい。学院創立十周年を記念して同窓会公刊名簿を作成する資料とします。

第一期生 小西 敬子

結婚六年目にしてやっと妊娠しましたが、切迫流産でベト上の生活をしています。
今回の近況報告は失礼させていただきます。来年こそハッピーな近況報告をさせていただきます。学院の発展と同志の健康を御祈りいたします。

第二期生 森 定 信子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第三期生 青井 桂子

金木庫の香に誘われて木の下の一年ぶりの懐かしい胸しめつける香りに酔ってしまったような……目を転じれば秋の風に、はかない踊りのコスモスの群。
秋の空はと見上げればいつもと同じ空の色。
あの日、あの時の教室の窓から見上げた空の色。
そっくりそのまま残ってた。
懐かしい友や、先生の話し声がしたようであたりを見廻しても、やはり私一人だけが金木庫の香りに包まれて立ちつくしていた。
私は感傷の日々の積み重ねで出

編集後記

深まりゆく秋。人恋しさもつのる秋。やっと第三号をおとけすることができました。内容を充実し楽しいものに……と願ひながら思いががです。(鹿、安達)

いらっしやいますか。
私は男の人の多いトコタに来たのに今だに彼ができません。……おかしいナ
職場は小児センターで毎日子供に遊んでもらっています。私はこのトコタでも元気ががんばっていますからね。
皆さんにあえる日を楽しみにしています。

第四期生 堀 久美子

同志生の皆様いかがお過ごしですか。私は、第四期看護科卒業の者です。今は専業主婦で玉島にいます。
私達四期生(看護科)は、学院祭を目標に再会を約束してきましたが、第一回、二回と進むにつれ仕事や結婚で限られ今は実行していません。
又、学院祭を期に近況を知りたいものです。

第五期生 岩崎 ちえか

皆さん、お元気ですか？
私達二人共にまあまあ看護婦生活を送っています。
岩崎さんは整形外科病棟勤務。チエカさんの声。ハルコさんの声。
就職して早くも六ヶ月が過ぎようとしています。看護本来のあり方を考えるたびに、自分の能力の足りないを痛感し、自信を失うことの多い毎日です。今後は研修会にも積極的に参加し、看護婦としての技術を高めたいと思っています。

第六期生 廣重 温子

毎日、生と死に直面した私の生活ですが、常に初心を忘れず反省をおこたらない日々を送りたいと思います。先生方をはじめ同志生の方にもよろしくお伝え下さいませ。マセ
私は内科(循環器系)勤務です。

第七期生 山本 ナツエ

皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。こちらの四人も元気に働いていますが、何かいいことないかなあ。と口癖みたいに言っています。
退事遅れてしまつて申し訳ありません。例を書いていいものか解らず、のびのびに成って……本願に入ります。職場……ということにして。就職した年は一人だけ外業勤務で、取り残された様な気がしてたのですが、一月の勤務交替で病棟勤務となり、四月には後輩を迎えられました。四月眼科病棟という全然経験のない場所へ配属されたことばかりです。しかし、平均年齢二十三代で新人卒者が殆んどで指導してくれる人いないし、皆若いだけに人間関係も色々むづかしいです。

第八期生 谷山 佳枝

学院を卒業して、早半年が過ぎようとしておりますが、先生・クラスの皆さん、元気でがんばって

看護科 山城 京子

学院の皆様、同志生の皆様お元気でですか。学院を卒業しては五年、結婚・就職・出産とあわただしく一変し、今、二児の母となり育児休暇中です。十一月から復職の予定ですが、忙がしく過す合間、又仕事で行き詰った時など旭川在職時代の充実した二年間をふり返り頭強めています。卒業後も文通、電話などで交友を深めている人も何人かいます。
今後いろいろな事があるとおもいますがフットで頑張りたいとおもいます。看護の向上をめざして皆さん頑張りましょう。

第三期生 白石 淑恵

お便りなつかしくうれしく拝見しました。
当方、五〇年三月卒業後、養護施設勤務を経て、今は思いもかけず、花作りに情熱をかける主人と一緒に暮らしています。
朝早くから夕方暗くなるまで花に囲まれた生活です。娘が一人、ただいま二才半、可愛い盛りといううか、生意気なことも超一流。末は夫物になるぞとの親バカぶりです。主人に笑われています。
今も岡山時代をなつかしく思い専門学院卒業を誇りにしています。私の生き方についての方角を与えてくれた所ですから、御発展を祈っています。

看護科 相子 加代子

(旧姓 松崎)
御無沙汰しております。皆様にはお元気の事と思います。私こと松崎も昨年十一月に結婚しまして相子になり、今年七月には男の子を出産することが出来ました。現在には子供を養育に預け病院の方に勤務しております。
病院の方も今年から三交代制を取り入れ少ない看護婦で四苦八苦回ります。この九月からは総病長

第九期生 吉川 京子

川上郡の田舎からでた友だたいまどカビカの社会人一年生です。
現在、独身、なぜか住居は二人の生活。
一言、外見は少し冷たそうに見えるかも知れませんが話をすると全然違う。ユーモアたっぷりな友なんです。

第十期生 松本 幸子

オギ。と生まれた所、藤田郡牛かひ父ちゃん、母ちゃんの間で生まれた三番目。
中盛みゆきの大ファン。なぜか細身でギターを持って歌っている感じが似ているかも……
ギターを持たずと、どんな場所でも歌いだす性格

第十一期生 松本 幸子

卒業生の皆さんお元気ですか。月日の立つのは早いもので、卒業して五年、私はもうすぐ三児の母親になります。学生の頃に比べると思ってもつかないくらい忙しい毎日を送っています。朝食の準備に始まり床につくまで、時間におわれています。たまにはゆっくり寝ても思いますが、なかなか自分の時間がとれないのが現状です。
そうした毎日の中で学生の頃をよく思い出します。あの二年間は私にとっては、楽しいことばかりでした。自分の思い通りに進めた時間。今一度あの頃に帰りたい気持ちでいっぱいです。学生の頃は良かったなあ。と思いがちでもスチキナ主人とかわい子供達がいて、とっても幸せな毎日を送っている私です。皆さんはどうしていますか。卒業してからは、学院に行くことも少なくなり同窓会便りが唯一の近況を知るものとなりました。大変でしょうががんばって下さい。

第十二期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第十三期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第十四期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第十五期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第十六期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。

第十七期生 青井 桂子

卒業して早七年、遊びすぎて先生に心配ばかりかけていた私も今では二児の母となり仕事に家庭にと忙がしい毎日を送っています。良き主人にも子供達にも恵まれ幸福な日々を送っています。母校に求められた際には是非教員としてお出下さい。人間と人間の触れあい、暖みのある看護婦でこれからもお互いに頑張りましょう。